

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2372000980		
法人名	医療法人社団誠淳会		
事業所名	グループホーム青葉の家(1号館)		
所在地	豊橋市嵩山町字松田55番地		
自己評価作成日	令和2年8月19日	評価結果市町村受理日	令和2年9月17日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kajigokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&jiyosyoCd=2372000980-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 愛知評価調査室		
所在地	愛知県名古屋瑞穂区本願寺町2丁目74番地		
訪問調査日	令和2年9月2日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「緑豊かな自然の中でゆったりとした生活をしながら、それぞれ何かの役割を持ちながら楽しくらせる「第2の住まい」を目標としています。ユニット事にレクリエーション等入所様と相談しながら企画を立て実行し、日常生活の中では出来る事には付き添い一緒にいき、職員も家族のように生活しています。入所者様の笑顔が絶えない様に心にゆとりを持ちながら明るい住まいを提供していきます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

トンネルを挟んで県境に位置し、周辺に住宅はないものの緑に囲まれた穏やかな環境にある事業所です。駐車場から玄関先まで芙蓉とツバキのまんまるな実が出迎えてくれ、職員と仲良くゴミ出しをしたり、誘い合っって散歩に出たり入ったりの様子に安寧が伝わります。食器拭きは「私の仕事」と信じていて職員が洗うのをじっと見つめて待っている姿もみられ、テーブルの上にそっと乾いた洗濯物を置いたり、自己有用感を高める取組みがあるほか、車いす利用が増えたため2台がリスクなく往来できるようソファの配置を替えたり、1日の入浴者を減らしてゆっくりお風呂で過ごしてもらえるよう工夫して、理念「～家庭的な生活」を図っています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 ○ 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている ○ 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが ○ 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を毎週朝礼で読み上げ、各フロアに掲示して全職員がいつでも認識できるようにしています	「みどりの中で家庭的な生活」との理念は、毎月の職員会議でも触れています。職員都合での介護が見受けられた場合には「利用者の生活の場である」ことを管理者から折につけ話して是正につなげています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	毎年地域の行事等に参加させて頂いたり、ボランティアの方々に来訪して頂き交流を図っています。	自治会長の交代では、新会長から「運営推進会議の趣旨がよく判らない」といった苦言があがり、民生委員の協力も得て今では円満なつきあいに至っており、事業所としては説明不足を大いに反省しています。	ボランティアからは「いつからできる？」と、問い合わせが入っています。「家族面会の再開とともに受入れが可能か」の検討や、アクリル板の準備等が進むことを期待します。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議で利用者様の状況報告をしたり地域の行事に参加して認知症を理解して頂き良い関係を築けるように努めています		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議にはご家族、地域の方々、地域包括の方へ出席して頂き会議の中での意見やアドバイスをサービス向上に活かしています	3月、5月の運営推進会議は書面開催(毎月の活動報告をメンバーに送付)とし、終息となった7月に再開、「久しぶりだね～」と笑顔で近況を話し合ったのもつかの間、9月の開催を迷う状況となっています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議の報告や他の報告で現状を伝え把握して頂きアドバイスを受ける等の情報交換を行い協力関係を築くように努めています	インターネットで調べる等して運営推進会議の書面開催を取り決め、議事録はこれまで通り市役所窓口に届けています。東三河広域連合には今年3月指定更新で出向いたきりですが、電話でやりとり確認ができています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	社内研修により禁止となる行為を学び、出入口の開放、行動の制止をしない取り組みに努めています	3、6、9、12の月を身体拘束適正化検討委員会の開催月と定め、議事録を適切に残していません。不適切な言動が管理者の耳に入るとその場に入り、説法問答を以て「なぜだめなのか」を職員自身がひも解けるよう促しています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	年2回の身体拘束についての研修と3ヶ月に1回の検討委員会を開き拘束に繋がらない支援を実践しています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人を利用されている方々がおり、後見人からの情報収集や社内研修により認識を深めるように努めています		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は管理者が重要事項やその他の契約を説明し承諾を得たうえで契約しています		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様が自分の意見を気軽に話せる雰囲気作りをしています。ご家族へは利用者の状況、状態報告をしながら要望やご意見を頂くように努めています	面会自粛で玄関先での逢瀬となり、おやつ差し入れも「一諸に食べたいのに…できないなら」と、足が遠のいた家族もいます。家族は総じて「お任せします」と介入が少なく、食事は5月からタッパーで届くようになったことも特段意見は無く了解を得ています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月1回実施される部会では、各ユニットでの意見や提案交換をし問題解決に向けた改善に努めています	60歳を過ぎた職員に再教育は難しいとの悩みはあるも定着率が高く、16年の勤務者もいます。毎月の職員会議では、例えば「入浴に時間がかかる」改善案として「1日3名としてゆっくり入れるように」となり、職員の休憩時間を調整するに至っています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	賞与時には職員個々の自己評価と管理者評価及び勤怠状況で評価を行い賞与につなげています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修への定期的参加や各ユニットで月1回の業務カンファレンスで問題や介護方法を学ぶ時間を設けスキルアップに努めています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	2ヶ月に1回の法人研修で他施設の方々との意見交換やネットワークで他の施設での取り組み紹介等でアドバイスを頂きサービスの向上に努めています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	定期的にカンファレンスを開き、利用者様を交え要望、困っている事、不安な事柄を聞きサービスの中に取り入れながら満足度を高めるケアに努めています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	担当者会議の中で御家族の要望等を聞き、その要望に応えながら安心して頂けるような信頼関係を築くように努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス計画作成前に担当者会議を開き本人、ご家族の要望に応えられる様に話し合いサービスの中に取り入れています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活のなかで出来る事の支援をしながら信頼関係を築き、楽しく過ごして頂けるよう努めています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族と協力して本人にとって1番良い環境が保てるよう話し合いお互いに支えあいながら支援しています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	御面会時にはゆっくりと出来る空間と時間を提供しご友人、知人の方々との関係も良好に保てるように努めています	これまでは友人、親戚も訪れていましたが、コロナ禍により来訪者は途絶えています。事務所電話も活躍しているほか、遠方に住む兄弟からは「元気にしてますか」とFAXが届くこともあり、手紙は本人に読んで聞かせています。	2ヶ月に1度の便りにはコロナ報告をおこない、6月には1度写真を添えて元気なことを伝えていますが、今後は便りの発行頻度があがることを期待します。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	共同生活の中でトラブルが起きない様に一人ひとりの様子観察をしながら、利用者同士の関係が悪くならない空間作りに努めています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他施設、病院に転所された後もご家族に経過を伺い、今後への支援をしています		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	3ヶ月1回のモニタリングを実施して、可能な限り本人の要望に沿えるように努めています	昼と夕の食事をつくらなくなり(外部納入)、職員の業務に余裕ができたことで、入浴ではスムーズに1日の人数を減らしたり、毎日のレクリエーションや散歩など利用者と関わる時間が増え、思いや意向把握も進んでいます。	勤務が長いせいなのか、または年長(高齢)からか、親しさから押れあい言葉がでるようですので、(管理者が逐一言わずとも)職員間で注意しあえる職場となることを期待します。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時に利用者、ご家族から入所に至るまでの経過について情報収集を実施しています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの過ごし方、心身状態等の現状把握に努め記録に残すことで職員間での共有を実施しています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者、ご家族、主治医、介護職員で話し合いを行いそれぞれの立場での意見を反映できるような介護計画を作成しています	介護計画書の作成時には家族の要望を電話で確認、計画作成担当がいれば説明もおこなっていますが、サービス内容の話し合いは十分ではありません。また担当者欄も職員と病院関係者のみで、家族の存在が薄いように映ります。	「説明は受けたが、話し合いはない」との家族が半数いるため、今後は担当者会議(または計画作成担当者の勤務日)と家族の面会日をすり合わせることを期待します。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子を介護記録、介護詳細に記録すると共にサービス計画に沿った介護が出来ているかの確認を行っています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者やご家族の状況、ニーズの変化に伴いその都度カンファレンスを実施しサービス見直しに努めています		

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域での行事に参加したり、ボランティアを受け入れたり、毎日の生活をより楽しむ事が出来るように支援しています		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者の身体状況を主治医に細かく報告し、適切な医療を受けられる様に努めています	1名が従来からのかかりつけ医を受診、他は月2回の訪問診療をおこなう協力医に変更しています。血圧、酸素濃度、体温を医師に伝え、適正な受診につなげ、「居宅療養管理指導書」「在宅患者訪問薬剤管理指導実施報告書」をファイルに綴り、共有しています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職員は日常生活の中で症状観察に努め、気づいた事を看護職員に報告相談しています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	事前に医療関係者との信頼関係を築き、入院した時に安心して治療を受けられる様、また早期退院が出来るような関係作りに努めています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合について主治医、ご家族と話し合い、当施設での支援説明しながら方針を共有しチームで支援に取り組んでいます	契約では、「協力医と連携して重度化に対応するも、医療的なことが此処ではできない、何かあったら最後は病院で」と説明、同意を得ています。また、延命治療の有無についての同意書はありませんが、担当医に委ねるとの一文が組み込まれています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の対応マニュアルを設置して、定期的に職員間で話し合いを行い適切な対応が出来るように努めています		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回避難訓練を実施し、安全な避難方法を学んでいます。地域の自治会長を通じ協力体制を築いています	夜間と日中双方の想定で法定訓練2回を1月、6月とで実施できています。非常階段をつかった避難や水消火器の操作も利用者と一緒にこない、ベテラン職員ばかりのため段取りもスムーズです。非常食は3日分用意しています。	コロナで面会も控えていることから、災害時伝言ダイヤル(171)の安否確認で家族参加があると、よいと思います。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりのの人格を尊重し接遇に気を付けています。相手に不快な気持ちにしない様に注意しながら会話をしています	職員と仲良くゴミ出しをしたり、誘い合って散歩に出だり、食器拭きは「私の仕事」と信じていて職員が洗うのをじっと見つめて待っている姿もあり、またテーブルの上にそっと乾いた洗濯物を置いたり、自己有用感を高める取組みがあります。	貼り絵や壁画制作においても、「できない人ができるように(道具ややり方を工夫して)」を考察していくことを期待します。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	認知症の方への対応は受容、共感、傾聴です。利用者の言葉に否定的な発言はせず、いつも寄り添う事を心掛けています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの好きな事や、やりたい事は違う為その人が楽しめる事を探しながら支援しています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	衣類の選択や整容時にはその人らしく身だしなみが出来る環境作りに努めています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の楽しみを持って頂くよう家事当番表を作成し準備や片付けなど職員と一緒に取り組んでいます	4月までは全て職員の手作りでしたが、現在は昼・夕は業者からタッパーで届いています。当初は「職員のほうが美味しい」とこぼす利用者もいましたが、今では味つけにも慣れ、職員も1名が検食並びに検食簿をつけ、不良品の交換などすぐ対応してもらえています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の食事形態や水分確保を把握し摂取量が少ない方への工夫をしながら支援をしています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを実施しています。その方に合った介助と口腔内の残渣物確認を行っています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	定期鄭なトイレ誘導を行い、排泄のリズムを作りトイレでの排泄の自立に向けて支援しています	排泄チェック表は基本「便のみ」で、尿は管理が必要な人のみとしています。筋力的には立位がとれるものの「こうしてください」といった指示がきかず、やむなくオムツとなっている人も数名おり、現在5名がテープ式のおむつを利用しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝の運動やレクリエーション等で身体を動かし、野菜中心の食事と水分摂取の工夫をしながら予防に努めています		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	利用者の体調や気持ちに合わせてゆっくりとくつろいで安全に入浴出来るよう支援しています	柚子や菖蒲の時節風呂も取り入れています。シャワー出し続けると「もったいないよ」「止めて」と職員を諭したり、お湯があふれると流すまいとして一瞬静止してしまう律儀な利用者が多く、都度職員が「大丈夫ですよ」と声をかけています。	間口も脱衣所のスペースも大変狭く、車いすを利用する人が14名となった現在、職員負担は計り知れません。利用者の安全とともに職員の定着アップのために、早期の是正を願います。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者の生活リズムや体調に合わせて休息して頂いたり、安心して気持ちよく眠れるように温度調整や静かな環境を整えています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	全職員は利用者一人ひとりの服薬情報を把握しており、服薬による変化には看護職員や主治医に報告しています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者が食事作り、食器の片づけ。洗濯の手伝い、ホールの掃除等役割分担により、楽しく気分転換して頂けるよう支援しています		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	利用者の希望に沿って、外気浴や日用品の買い物、外食に出掛けて頂けるように支援しています	外出行事は1月の初詣で打ち切りとなっていますが、玄関前からは桜の花見ができ、スイカを食べたり、ごみ出しに乗じて利用者を誘ったり、頻回な散歩や外気浴ができる環境にあります。加茂の菖蒲園は断念しましたが、向山公園の梅園散歩ができることを楽しみに待つ毎日です。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出時には利用者が希望される物を選択出来るように支援しています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族からの電話は本人が話をされ職員からもご理解出来るように説明をしています		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居有空間には季節感を感じて頂ける掲示物や利用者の作品や写真等を飾り心地よく過ごして頂けるように支援しています	手すり、ドアノブなど手で触るところは消毒をこまめにおこない、換気は朝開けた後リビングは1日扉を少し開けておくようにしています。また、車いす利用が増えたため、2台がリスクなく往来できるよう、ソファの配置を替えています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブルで過ごされる方、ソファーで過ごされる方、皆様がそれぞれ好きな場所でテレビを観たり、会話を楽しまれたり、好きな事をしながら過ごして頂いています		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具や置物等、利用者が納められて持ち込んで頂き居心地よく過ごして頂けるように支援しています。	退去、入居のほか、衣替えも玄関先での受け渡しとなり、家族とは心苦しいやりとりが続いています。洗面台の脇にあるタオルは夜勤者が交換するなど衛生面に配慮する居室には、ハンガーラックや家族写真の持ち込みがあります。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安心して過ごして頂く為にトイレ場所には大きく掲示したり、居室はその方に必要な表示をして安心して頂けるように支援しています。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2372000980		
法人名	医療法人社団誠淳会		
事業所名	グループホーム青葉の家(2号館)		
所在地	豊橋市嵩山町字松田55番地		
自己評価作成日	令和2年8月19日	評価結果市町村受理日	令和2年9月17日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kajikokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&jiyosyoCd=2372000980-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 愛知評価調査室
所在地	愛知県名古屋市長瀬区本願寺町2丁目74番地
訪問調査日	令和2年9月2日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「緑豊かな自然の中でゆったりとした生活をしながら、それぞれ何かの役割を持ちながら楽しくらせる「第2の住まい」を目標としています。ユニット事にレクリエーション等入所様と相談しながら企画を立て実行し、日常生活の中では出来る事には付き添い一緒にいき、職員も家族のように生活をしています。入所者様の笑顔が絶えない様に心にゆとりを持ちながら明るい住まいを提供していきます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

トンネルを挟んで県境に位置し、周辺に住宅はないものの緑に囲まれた穏やかな環境にある事業所です。駐車場から玄関先まで芙蓉とツバキのまんまるな実が出迎えてくれ、職員と仲良くゴミ出しをしたり、誘い合って散歩に出たり入ったりの様子に安寧が伝わります。食器拭きは「私の仕事」と信じていて職員が洗うのをじっと見つめて待っている姿もみられ、テーブルの上にそっと乾いた洗濯物を置いたり、自己有用感を高める取組みがあるほか、車いす利用が増えたため2台がリスクなく往来できるようソファの配置を替えたり、1日の入浴者を減らしてゆっくりお風呂で過ごしてもらえるよう工夫して、理念「～家庭的な生活」を図っています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は各ユニットに掲示されており週1回の朝礼時や月1回の職員会議等で確認して実践に繋げています		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	運営推進会議には校区自治会長や民生委員の方へ出席して頂き、意見交換を行ったり、地域の小学校や保育園の行事に参加して交流を図っています		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の小学校や保育園の行事に参加することで認知症の理解が頂けるような交流に努めます		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者様、家族様、または地域の方へ参加頂き、意見を伺いその意見を職員で検討し、サービスの向上につなげていきます		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	報告書や届け書の提出時には市役所へ向かい、直接担当の方へお会いするように努め、良好な関係を築くようにしています		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について定期的な研修で学び、現在身体拘束をしない為の話し合いを行い対応の確認をしています		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的に研修を行っています。利用者様、家族様を含め職員も意見箱を設け、見過ごされることのないように、また職員間では注意する事が出来る関係性が築けるように努めています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員間で話し合いの場所を設けています。また、制度やNPO法人を活用された利用者様の担当者様からも情報を頂き活用しています		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約は書面にて行い利用者様、家族様が納得されるまで説明を行っています。不安、疑問にはその都度お答えするようにしています		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	事務所入り口には意見箱を設け常時受け付けています。運営推進会議に出席頂き、意見を包括地域の方に発する事もでき、疑問などは職員も共有し話し合いも持つようにしています		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員用、意見箱も設けられていますが、毎月行われる部会では、各ユニットでのいけんが責任者や管理者に伝えることができ、業務につなげています		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	業務時間、年齢、勤怠によって手当、身分が分かれており、やりがいを持って働けるように整備されています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修は身分や勤務年数にて受ける機会があります。法人外の研修には勤務等を考慮して受けられるように努めています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内外の研修への参加を推奨し、交流できるように努め、学んだ事をサービスの質の向上につなげられるように研修に参加していない職員にも情報を伝えるように努めています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者様の要望等を伺い信頼関係を築くように努めています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様の要望等を伺い、それについて話し合い、信頼関係を持てるように努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者様の生活歴の情報収集を行い、必要をしているサービスを考え理解して頂けるように努めています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒に行える作業を実践しながら信頼関係を築き、利用者様を人生の先輩として尊敬し、笑顔と丁寧な声かけを心がけています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様へ利用者様の状況や要望を報告し、協力し合える支援に努めています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者の日常会話から出てきた名前や場所を語り合いや関係の継続維持に努めています		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	会話やレクリエーション時など職員が間に入り共通の話題を提供し、利用者様同士がより良い関係が持てるように努めています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	家族の相談にのったり、助言したり支援に努めています		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様の要望を必ず伺い、要望に沿ったサービスが提供できるように努めています		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者様の生活歴や生活環境、これまでのサービス利用の経緯の把握に努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの言動や日常生活動作を見守り、職員間での情報交換を行い現状把握に努めています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	話し合いを行いご家族の意見や現状を考慮しながら出来る限り、要望に沿える介護計画を作成しています		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護計画書の目標項目の実践状況を毎日介護記録に記入し、職員間で情報を共有したり、計画書の見直しに活かしています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々ニーズに応えるべく、その都度職員で話し合いを行い、適切なサービスが提供できるように努めています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事へ参加させて頂く事で、地域の方々との交流を持ちながら相互理解を深め、地域の中で楽しく暮らせるように支援しています		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診時に身体状況をご家族様を通じてかかりつけ医に報告し、往診を受けられている利用者様の場合は職員が付き添い支援しています		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員は日々の関わりの中での気づきを看護職員や主治医に相談し適切な受診や介護を受けられるよう支援しています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	安心して治療に専念できるよう病院関係者との情報交換や相談に努めています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合の利用者様ご家族の気持ちを伺うと共に事業所の方針を十分に説明し主治医と連携を取りながら希望に沿った支援に努めています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時、適切な行動が実践出来るよう、訓練を行ったりマニュアルの再確認をしています		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に災害訓練を実践し、利用者が安全に避難出来る方法を確認し、併設している老人保健施設の職員や地域の方々との協力体制を整えています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の人格を尊重し、言葉かけや対応には十分の配慮をしています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の思い等を傾聴し、希望に沿いながら、自ら決定が出来るように支援しています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入所前の面談で希望や趣味等を聞いて、個々の生活習慣に合わせながら、ゆっくりとその人らしい暮らしが出来るように支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	今まで使用していた化粧品等を準備し何時でも身だしなみが出来る環境を提供しています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や片づけなど役割分担をしながら職員と共に楽しみながら行っています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人一人に合った食事形態とバランスを考え水分確保にもそれぞれの物を提供しています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後自力で出来る方々は声かけ見守りをして出来ない方々は誘導しケアをしています。		

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	日中は定期的な排泄誘導で失敗を防ぎオムツ使用の軽減に努め、トイレでの排泄行為が出来るように支援しています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝の体操や歩行等で身体を動かし適量の水分補給をしながら自然排便が出来るよう支援しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	浴室に他の方が入る事なく一人ひとりゆっくり入れています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中居室で休みたい方は自由に休んで頂き夜間にも安心して入眠出来る環境を整えています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりが使用している薬剤情報を読み理解しながら目的、用法、副作用を把握し、服薬の支援と変化がある時には主治医報告をしています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの生活歴や趣味など把握し出来る事の働き掛けや外気浴等気分転換に努めています		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	今年はコロナ感染症流行により外出が出来ない状態が続いていますが、施設周りの散歩等で戸外への外出に努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者がお金の心配をしてくる時には金庫に預かっている事を伝え外出や必要な物の購入には本人と共に使えるよう支援しています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族からの電話には取り次をしたり、かける事もある。知人や親類等への手紙交換出来るよう支援しています		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間では安全に移動が出来るような配慮や音楽、テレビ鑑賞等をゆっくり楽しんで頂くように努めています		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間での居場所作りではそれぞれその人らしい過ごし方が出来るように工夫をしている		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所前に使われていた馴染みの家具等を入れて頂き本人が居心地よく過ごす事が出来るように支援しています		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや浴室等の共有部分には分かるように掲示し、出来る事の自立を促しています		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2372000980		
法人名	医療法人社団誠淳会		
事業所名	グループホーム青葉の家(3号館)		
所在地	豊橋市嵩山町字松田55番地		
自己評価作成日	令和2年8月19日	評価結果市町村受理日	令和2年9月17日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kajikokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&jiyosyoCd=2372000980-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 愛知評価調査室		
所在地	愛知県名古屋市長瀬区本願寺町2丁目74番地		
訪問調査日	令和2年9月2日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「緑豊かな自然の中でゆったりとした生活をしながら、それぞれ何かの役割を持ちながら楽しくらせる「第2の住まい」を目標としています。ユニット事にレクリエーション等入所様と相談しながら企画を立て実行し、日常生活の中では出来る事には付き添い一緒にいき、職員も家族のように生活をしています。入所者様の笑顔が絶えない様に心にゆとりを持ちながら明るい住まいを提供していきます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

トンネルを挟んで県境に位置し、周辺に住宅はないものの緑に囲まれた穏やかな環境にある事業所です。駐車場から玄関先まで芙蓉とツバキのまんまるな実が出迎えてくれ、職員と仲良くゴミ出しをしたり、誘い合って散歩に出たり入ったりの様子に安寧が伝わります。食器拭きは「私の仕事」と信じていて職員が洗うのをじっと見つめて待っている姿もみられ、テーブルの上にそっと乾いた洗濯物を置いたり、自己有用感を高める取組みがあるほか、車いす利用が増えたため2台がリスクなく往来できるようソファの配置を替えたり、1日の入浴者を減らしてゆっくりお風呂で過ごしてもらえよう工夫して、理念「～家庭的な生活」を図っています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所理念を毎週の朝礼や月一回の部会で再確認し、理念に基づいて現在の問題点を検討し、今後の課題成果を話し合い、実践につなげていきます。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	ボランティアの方々の演奏に合わせて歌ったり、踊りを鑑賞したり、地域の行事等にも積極的に参加し、日常的な交流を図っています		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症の理解や支援方法を学んで頂くよう定期的に会合を開催し、多くの方にご参加いただくように働きかけています		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的で開催される中で利用者様の日常生活等の報告と共にサービスの向上に向けての意見交換を活発に行い、実践につなげています		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	事業所の実情やケアサービスの取り組み等を定期的に伝え、見て頂きながら協力関係を築くように努めています		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的に講習会を開きその中でサービス指基準における禁止事項の具体的な行為を職員全員が把握し、また職員の体制が揃った時点でオートロック等を一部解除し、拘束をしないケアに努めています		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的な講習会の中で虐待防止関連法を学び、利用者様に対して精神心理的、肉体的な苦痛を与えないケアを行い、虐待行為を見過ごさないように努めています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	自立支援についての理念をもとに担当者会議をし、進捗度を報告しています		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	介護詳細記録の説明や利用者の家族の面会時に十分な説明をしています		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族や利用者を含む現状の問題点がないか共有できるように毎日細かい打ち合わせを部会で話し合っている		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	部会や週一度朝礼を実施しています。また、個別ミーティングをし、反映させています		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	介護職員処遇改善加算の増額や資格手当の充実により、各自が向上心を持って働ける環境に努めています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設内では定期的な研修とその職員に応じた研修を行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	ADLなどの難病介護や私たちの介護医療について他者と意見交換をしています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居者様の声に耳を傾け不安や要望にできるだけ答えられるように努めています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様と話し合い要望に応えられるよう支援し、信頼関係を築くように努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居者様の性格や個性などを感じ取りその方にあったサービスを提供しています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	声かけやコミュニケーションをとり、笑顔で接することができるように心がけています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様の協力をいただきながら支援するように努めています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	大切な人や馴染みの場所等語り合えるような環境作りに努めています		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず、利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が間に入り共通の話題は持てるように努めています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	その時々のお話を大切に、安心感を与えられるよう支援に努めています		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員同士で情報を共有し、その方にあった支援ができるように努めています		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	会話やコミュニケーションを大切に、その中から情報収集をするように努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活の中からその方にあった生活の環境作りができるように努めています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的なカンファレンスを行い、一人一人が安心して暮らせるように努めています		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	細かい情報は記録に残し、情報交換がしつかりできるように努めています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人様のニーズに合ったサービスを提供しています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域との関わりを大切にし、行事へ積極的に参加できるように努めています		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療機関と信頼関係を保ち、利用者様が適切な医療を受けられるように支援しています		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	バイタルサイン測定を行い、日々の観察を怠らないように努めています。急変時には看護職員に報告し適切な受診や看護が速やかに受ける事が出来るように支援しています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	ご家族に連絡を取り的確な情報を頂いた上で、入院先に状態の確認に伺うように努めています。退院後には安心して生活して頂けるよう看護、介護職にて必要な情報を共有するように努めています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族と話し合いを行い、主治医の指示を仰ぎながら、支援に取り組んでいます		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急事態が発生した際、適切な行動がとれるように努めています		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的な防災訓練を基に、安全確保ができるように努めています		

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様の訴えを丁寧に傾聴し、プライドに配慮した声かけをするように努めています		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様の話し合いを常に傾聴し、利用者様の思いや希望を理解し、自ら決定できるように支援しています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の都合ではなく、利用者様一人一人のペースに合わせて希望に沿うように努めています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	外出や行事など、利用者様に着たい衣服を選択していただくように支援しています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事を楽しみを持って頂くように盛り付けを手伝っていただき、食事時には職員と一緒にコミュニケーションをとりながら食事を摂れるような支援をしています		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日トータルして毎食のカロリーや水分量を計算して提供しています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、食物残渣が残らないようにうがいや歯磨き、義歯の洗浄など一人一人に合わせた支援をしています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄パターンを把握し、繰り返し排尿誘導を行うことで、自らトイレに行くことができるように自立に向けた支援を行っています		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維を多く摂取できる食事の提供、十分な水分摂取、適度な運動などを心がけ予防に取り組んでいます		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴がストレスにならないように一人一人の希望やタイミングに合わせて楽しく入浴していただける環境作りを行っています		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人の体調や生活習慣に配慮し、ゆっくり休憩したり、気持ちよく眠れるように支援しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別に薬剤情報を見て、効能、副作用などを把握し、服薬には日付、氏名を確認して誤薬のない様に努めています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常家事への参加を促し、役割意識を持って頂き、また生活歴や趣味を生かし張り合いや喜びのある日々を過ごして頂けるように支援しています		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族にも協力をお願いし、季節ごとのドライブ、散策、または外食等出かけるように努めています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出時は買い物をしたり、外食の際にはご自身でお金を使えるような支援をしています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人とご家族が電話で話ができるようにしたり、手紙を出せるように支援をしています		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有の空間には皆様の作品や季節毎の壁画、四季の花等を飾り、季節を感じながら居心地良く過ごせる工夫をしています		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファや椅子、テーブルの配置を工夫し、共有空間の中で自由に過ごせる居場所を作りをしています		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた物やご本人の好みを尊重し、居心地良く過ごせるように工夫しています		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室、トイレ、浴室等分りやすい表示を付け迷うことなく安心して安全に過ごせるよう工夫しています		